

## 6. 発表業績・報道実績

### (1) 学術誌・学会等での発表

発表業績	発表(発明)者所属	発表(発明)者氏名	発表誌.巻(号),掲載頁,発行年,発表年月日
Quantitative protocols for exploring the optimal measurement points for estimating body length and weight from otolith information using the blackthroat seaperch in the western Sea of Japan	海洋資源科	Sorata Tanaka, Mio Kato, <u>Yasuyuki Kanamoto</u> , Minoru Kanaiwa	<i>Fisheries Sci.</i> 90, 369–377 (2024)
島根県のワカサギ	内水面科	<u>福井克也</u>	「わかさぎを読む」生物研究社 181–187 (2024)
環境DNAを用いた仔アユ流下量把握に関する基礎的検討	海洋資源科	平田真二, 滝澤将弥, <u>井口隆暉</u> , 丸山啓太, 岡田経太, 中尾遼平, 赤松良久	河川技術論文集 (30), 17–22 (2024)
アラメ類の伝統的な加工における渋み成分に関する検討	利用化学科	<u>石橋泰史</u>	令和6年度日本水産学会秋季大会講演要旨集(2024.9.24–27)
アラメ類の伝統的な加工における渋み成分に関する検討	利用化学科	<u>石橋泰史</u>	令和6年度水産利用関係研究開発推進会議研究会資料 (2024.11.19–20)
日本海南西部島根県沖で採集されたボウズイカの2,3の知見	海洋資源科	<u>寺門弘悦</u>	令和6年度日本水産学会中国・四国支部例会要旨集 (2024.11.30–12.1)
江の川河口内におけるアユ仔魚の分布と生息環境との関係	海洋資源科	<u>寺門弘悦</u> , 高橋勇夫, <u>曾田一志</u> , 安木茂, <u>沖野晃</u>	水産増殖 72(3・4), 163–175 (2024)
江の川における置土の河床改善効果の検証	海洋資源科	<u>井口隆暉</u>	令和6年度アユ資源研究部会報告書 (2025.2.6–7)
高津川におけるアユ資源についての調査	内水面科	<u>寺戸稔貴</u>	令和6年度全国湖沼河川養殖研究会西日本ブロック研究会 (2025.2.12–13)
高津川におけるアユ遡上数と孵化時期の関係解明	内水面科 海洋資源科	<u>寺戸稔貴</u> , <u>雜賀達生</u> , <u>松本洋典</u> , <u>内田浩</u> , <u>沖真徳</u> , <u>福井克也</u> , <u>井口隆暉</u> , <u>寺門弘悦</u> , <u>沖野晃</u> , <u>谷口祐介</u>	令和6年度全国水産業関係研究開発推進会議(2025.2.18)
島根県におけるアカアマダイの市場調査結果	海洋資源科	<u>寺門弘悦</u>	令和6年度アカアマダイの研究開発に関する検討会 (2025.3.7)
沖合底びき網漁獲物の付加価値向上について	利用化学科	<u>細田昇</u>	水産物の利用に関する共同研究第62集 (2025)

絞りワカメの適切な加工条件の検討	利用化学科	吉村真理	水産物の利用に関する共同研究第62集(2025)
アラメ類加工における渋み低減の条件検討	利用化学科	石橋泰史	水産物の利用に関する共同研究第62集(2025)
深度130m付近での深度計の器差補正	漁業生産部	沖野晃, 江幡惠吾	令和7年度日本水産学会春季大会講演要旨集(2025.3.26-29)
環境DNA分析を用いた江の川浜原ダム湖におけるアユの滞留状況の把握と降下条件の検討	海洋資源科	丸山啓太, 花岡拓身, 斎藤稔, 寺門弘悦, 谷口祐介, 福丸大智, 赤松良久	令和7年度日本水産学会春季大会講演要旨集(2025.3.26-29)
マナマコ(アオ型・アカ型)の部位別成分および臭気の検討	利用化学科	岡本満, 松林和彦, 寺谷俊紀, 開内洋	令和7年度日本水産学会春季大会講演要旨集(2025.3.26-29)
2023~2024年の東シナ海周辺で大型まき網により漁獲されたマアジの粗脂肪含量の変動	利用化学科	谷津明彦, 本田修, 山崎吉明, 石橋泰史	JAFICテクニカルレビューNo.6, 10-16(2025)
2023~2024年の東シナ海周辺で大型まき網により漁獲されたマサバの粗脂肪含量の変動	利用化学科	谷津明彦, 本田修, 山崎吉明, 石橋泰史	JAFICテクニカルレビューNo.6, 17-23(2025)

## (2) 報道実績

日付	新聞社等	記事	担当部署
R06/05/01	みなど	島根マサバ平年上回る 24年中巻上期予報 マイワシは下回る	海洋資源科
R06/05/02	水産経済	山陰沖の浮魚来遊予報 マアジは前年並み 島根県水技センター	海洋資源科
R06/05/16	山陰中央	たる流し漁 可能性探る 島根西部で今夏導入	海洋資源科
R06/05/24	山陰中央	どんちっちアジ初出荷 918キロ認定 前年より1ヶ月遅く	海洋資源科
R06/06/20	山陰中央	野菜、魚に異常気象影響 日差しで着色不良 水温上昇で水揚げ減 品種転換、海藻投入で対応	海洋資源科
R06/07/03	山陰中央	「生粹鮎」香り、うま味PR 江の川養殖ブランド化	利用化学科
R06/07/04	中国	江の川養殖アユ 天然に負けぬ「激流」で成育「生粹」の味PR	利用化学科
R06/07/19	中国	アワビ価格上昇 試験養殖に本腰 県水産技術センター 漁業者の安定収入へ	浅海科
R06/07/21	山陰中央	大型クラゲ大量出現か 島根沿岸、漁業被害警戒	海洋資源科
R06/07/28	中国	若手呼ぶ 小伊津アマダイ 出雲の漁村4年で5人移住 はえ縄漁「頑張った分だけ稼げる」魅力	海洋資源科
R06/08/01	山陰中央	シジミ漁じよれんの目拡大 宍道湖漁協 資源保全で35年ぶり11→12ミリ、小型の漁獲抑え 未成貝前年同月比75%減 島根県「予断許さない状況」	内水面科
R06/08/06	山陰中央	気候変動の脅威 山陰の產品守れるか④ 高海水温ワカメ成育阻害 養殖安定へハイブリッド株	浅海科

R06/08/07	山陰中央	気候変動の脅威 山陰の產品守れるか⑤ 白イカに異変 続く不漁 海水温上昇 ルート北上か	海洋資源科
R06/08/08	中国	シジミ漁 編み目を拡大 宍道湖 資源量回復へ 11ミリ→12ミリ 35年ぶり見直し 小型残す	内水面科
R06/08/28	朝日	漁具の網目広げ小型シジミ守る 宍道湖漁協が資源保護	内水面科
R06/08/28	中国	シカメガキ 中海で養殖へ 小ぶりで濃厚な高級品 県水産技術センター 漁業権復活で技術開発	浅海科
R06/08/30	中国	江の川養殖アユ メロンの香り 浜田技術センターなど分析 代表産地と成分比較 PRへ	利用化学科
R06/08/31	山陰中央	どんちっちアジ 最低13.9トン 24年水揚げ量、不漁深刻化 浜田漁港	海洋資源科
R06/09/03	中国	石見 海の幸をどう味わう アクアスで語る会	漁業生産部
R06/09/05	NHK 松江放送局	しまねっと NEWS610 人工ふ化のナマコ 海に放流	浅海科
R06/09/11	山陰中央	水温、潮予測 スマート漁業 漁師の勘 アプリでカバー 水揚げ増、燃料節約狙い 島根県水技導入	海洋資源科
R06/09/11	山陰中央	ナマコ1万匹放流	浅海科
R06/09/26	みなと	マアジ来遊増予想 長崎ー島根の0歳魚	海洋資源科
R06/10/03	山陰中央	江の川養殖アユ「メロンの香り」 成分 他県産の倍以上 技術センター分析 付加価値アピール	利用化学科
R06/10/21	みなと	アラメの渋み成分数値化 県、加工マニュアル化目指す 島根	利用化学科
R06/10/23	中国	しまね 2024衆院選 水産振興 細る漁業 かじ取り不透明 関連事業者も厳しい環境	海洋資源科
R06/10/29	みなと	ケンサキイカ漁前年超え 8月 九州北部ー山陰の5県	海洋資源科
R06/11/07	朝日新聞 withnews	コウエツさんのことばなし 話題 ブリのおいしい季節と関係? 北陸の冬の雷「ぶり起こし」由来を探ると	海洋資源科
R06/12/16	みなと	ケンサキイカ9月好漁 九州ー山陰 島根や福岡など平年超え	海洋資源科
R07/01/21	中国	ヌタウナギやダイナンウミヘビ…? 「未利用魚」知って驚き アクアスで18人	漁業生産部
R07/01/30	山陰中央	アラメ加工法開発へ 健康食品への採用狙い 沿岸漁業者経営支援 島根水技センター	利用化学科
R07/02/07	みなと	ケンサキイカ漁下回る 24年10月 九州北部ー山陰6県	海洋資源科
R07/02/14	NHK 松江放送局	しまねっと NEWS610 最新技術で漁業を効率化	海洋資源科
R07/03/04	NHK 総合	おはよう日本 おはBiz 漁業をデジタルで効率化	海洋資源科
R07/03/08	読売	「シジミの1ミリ」資源守る? 宍道湖漁協 35年ぶり じょれん網目拡大 若貝減少傾向で対策	内水面科
R07/03/21	みなと	島根漁獲量10万トン台維持 24年 マイワシ、サバは好漁	海洋資源科